



陽気だより

図書出版 養徳社 〒632-0016 天理市川原城町 388 TEL 0743 (62) 4503 / FAX 0743 (63) 8077

養徳社

検索

昭和41年6月号から

『陽気』は、昭和24年4月の創刊、今年で66年を迎えます。過去の記事から、その歩みの一端を振り返ってまいります。

天理教本部へ参拝して

観光旅行で天理に滞在した私（未信者）は、愛と誠に包まれた生活に接して、わが人生の指標を与えられた

中園清一

（投稿）

「お帰りのさいに」バックリ

私は北九州の山村にて水田一町五反、山林一町、畑二反と畜産を少しやっている、四人家族の一農家であります。

最近、鉄道主催の観光旅行にすすめられ、京都、奈良、その他関西方面を再三旅行し、神社仏閣に幾度か参拝したのであります。天理教だけは観光コースにないため、一度も参ったことがありませんでした。

ところが今回、ふとした奇縁により、初めて天理教本部に参詣したのであります。あの美しい町を通ると、「ようこそお帰りくださいました」と

書いてありました。私はその意味がわかりません。初めて来たのに、「帰ってきた」とは、いったい、どんな意味であろうか？

あの白木造りの日本式の建物を見ただけで、その壮観に驚きました。京都、奈良の寺院に参った気持ちとは、まったく違います。磨き上げられた廊下、神殿はこうごうしい気が充満して、思わず頭が下がりました。

「天理教」と書いたハッピを着た老若男女の人たちが、なごやかに歩いておられるやさしい姿は、天国そのものでありました。私が長い時間一巡して拝観してもどつてくると、

そこには靴は清く磨きあげられ、傘も荷物もきれいにそろえてありました。

伊勢神宮は大自然の山の中に建てられ、あの老杉はみずからこうごうしい気をいっそう深めているが、天理教は人びとの雑踏する大衆の町に建てられ、だれでも気安く参拝できる民主的な神殿でありました。

忘れた荷物がある

私は数年前、元参議院議員常岡一郎先生の講演を聞いたこともありますし、また、宿舎（信者詰所）に泊まって、しみじみと寮生活を味わってみました。

四月の初めて宿泊する人も少なくはありましたが、掃き

清められた十畳の間に案内されました。普通の旅館のようなサービスはありませんが、室内や便所、食堂が合理的に設計され、気持ちがいほど掃除が行き届いておりました。

ことに私の心を強く刺激したのは、天理教のハッピを着た老人や若い男女の人たちが一室で三味線、笛を相手に踊りの練習をしている光景でした。平和にしてなごやかなあの姿、私はなんとこの風景であろうと、涙の出るのを禁ずることができませんでした。

農村のガリガリ根性、自分さえよければ人はどうでもよいという利己主義の旋風の中に生活している私たちには、大いに学ぶところがあつたのであります。



月刊『陽気』
定期購読受付中 お知らせ

お店まで買いに行くのが大変。
忙しくて購入するのを忘れた。
定期購読はそんな手間を省きます。
毎月20日前後にご自宅宛に発送いたします。
(例：9月号は8月20日)

陽気 10月号

特集
別席を運ぶ
連載
◎子どもは犬から猫に変わる
◎医の目・鷹の目 ほか

定期購読料金
1年分…3,420円(送料込)
半年分…1,710円(送料込)

購読に関する問合せ先
☎0120-920-398 養徳社 業務部窓口

あのなごやかな、敵のない、愛と誠に包まれた気持ち、人の和こそ、私が日ごろ求めているものでした。

更に驚きましたことは、八十年祭に参拝した時忘れた荷物が、住所がわからないため、二カ月前から私の一室にそのまま置いてあったのであります。

普通の旅館や寺院で、私は荷物を何回も盗まれたこと、靴や傘を粗末なものと代えられたことが再三ありました。ここでは毛頭そんなことはありませんでした。

天理教の愛の精神に学ぶ

今や日本の農村は、未曾有の危機にひんしています。農村の行き詰まりでなく、農民の行き詰まりです。若い人た

ちは農業をいやがり、都会地へ走っております。

家庭では親子の争い、嫁としゅうとめとのにらみ合いが絶えず、家庭愛というものがまったくない。

隣に倉が建てば腹が立つという思想。自己を第一義とする傲慢な思想。人造りや村造りも、あったものではない。この封建的な悪思想を改めない限り、農村は絶対に救われません。

いかに政府が構造改善や殖産をやかましく言ったところで、木によって魚を求めめるようなものです。根底は人であり、信念であります。

私は天理教のあの愛の精神を農村の家庭に、村に取り入れたら、農村は見違えるように明るくなると痛切に感じま

した。

人間は天から降ってきたものでも、地から湧いてきたものでもない。神の摂理によって生まれてきたのである。神様から与えられたのである。人間は神の子であるということを悟らせていただき、初めて「ようこそお帰りくださいました」の意味が解けたのであります。

ああ、自分の里帰りであったのか。

なぜ、もっと早く帰って来なかつたのであろう——人生の長い旅路を放蕩三昧(ほうとうさんまい)に身をもち崩した罪を心から神様にお詫びしたのであります。

人造り村造りの源泉を見る

観光旅行で××寺院その他に宿泊した際、やれ先祖の供養のためとか、病氣平癒のためとか、商売繁盛のためとかと、営業的に寄付を強要されることは、まことに不快な気持ちにさせるものであります。宗教とはなんぞや、教育とはなんぞや、と高遠な理想を説き、哲学的な神学を説いても、われわれ百姓にはわかりかねます。だれでもわかりやすく、実行のできる宗教が一

番よいのです。

私は百姓で、宗教の深い意味は知りませんが、天理教が一番日本人の、農村の生活に適している、この教えを各家庭に取り入れたら、農村は見違えるように更正する。人造り村造りの源泉であることを知りました。

教祖はどんな人格のお方か知りませんが、よほど愛に徹し、平民的で神に近いお方であつたらうと思われれます。

私のこの感激を一人胸の中に秘めておくのはもつたいたいなと思ひ、拙文ではあります。が、初めてお参りした実感を申し述べて、ご恩の一端に代えさせていただきます。

鋭意編集集中

子どもは犬から猫に変わる

カウンセリングの現場から見える
子どもの心・青年の心理・親の心

古市俊郎 著
(福之泉分教会会長・産業カウンセラー)

価格・頁数未定

養徳社 天理市川原城町 388 ☎(0743)62-4503
http://yotokusha.com/

Facebook で最新情報をチェック!
<https://www.facebook.com/yotokusha>

この「陽気だより」を支部例会などの折、広く養徳社からのお知らせとしてご利用くださいますよう、お願い申し上げます。
<書籍・陽気のご購入方法について>前払いをお願いしております。お近くのゆうちょ銀行に備え付けの振込用紙をお使い頂き、[住所、氏名、電話番号、書名(陽気希望月号)、冊数]を明記の上(振替口座番号 00990-3-17694番 加入者名 (株)養徳社)へご送金ください。手数料はお客様負担となります。ご入金を確認後、速やかに商品を発送させていただきます。ご不明な点は養徳社までお問い合わせ下さい。フリーダイヤル0120-920-398 養徳社 業務部